

# 三条教区通信

## 第109号

発行日 2016年7月13日  
発行者 三条教務所長 森田成美  
発行所 真宗大谷派三条教務所  
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57  
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp  
ホームページ: www.gobosama.net

三条教区 🔍

### 今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

ゆ へ へ へ  
往くも還るも  
たりき  
他力ぞと  
しんじん  
ただ信心を  
すすめけり

往還回向由他力 正定之因唯信心

『和訳正信偈』(真宗教団連合制定)

Our going and returning come about through  
Other Power, thus shinjin alone is urged.

Classical Japanese Translation of Shoshinge,  
by Shinshū Kyōdan Rengō

### 三条教区災害対策委員会のお知らせ

平成 28 (2016) 年熊本地震に関する  
三条教区の対応について (続報)

#### ①救援金について

このたび、教区内寺院・教会をはじめ有縁の皆様から募りました救援金につきましては、災害対策委員会の議を経て全額を熊本教区にお届けすることとし、2016年6月30日付で4,097,161円を熊本教区に送金いたしました。ご協力いただきました皆様に深く感謝いたします。

なお、熊本教区では地震の後、記録的大雨による更なる被害が報道されております。

三条教区の救援金については、受付を継続させていただいておりますので、本堂等での救援金箱の設置や盂蘭盆会、聞法会での有縁の皆様への呼びかけ等、引き続きご協力賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。

次回の熊本教区への送金予定は11月下旬を予定いたしております。

#### ②ボランティア活動について

災害支援実行委員会を中心とし4~5人で現地に赴き支援活動を行う予定です。

また、経費については、2016年度予算において、災害対策積立金から交通費等に係る507,250円を教区費会計に回付し、教区費会計の「災害支援実行委員会費」に同額を増額計上して支弁する予定です。

実施は8月下旬を予定しており、先日開設された宗派ボランティアセンターを窓口とした寺院・御門徒宅の片づけや清掃等の他、避難所・仮設住宅等での炊き出しや物資の搬送・配布等の自治体のボランティア活動への参加を検討しております。



被災直後の熊本教務所本堂(柱が傾き倒壊寸前の様子)



職員による救援活動の様子

これまで皆様からご協力いただけてまいりました東日本大震災救援金は2014年度末(2015年6月30日)現在、総額14,424,675円となりました(使途:仙台教区へ10,000,000円、東京教区へ2,000,000円、復興支援活動資金3,825,805円)。

2015 年度より、東日本大震災救援金は、引き続き災害救援・復興カンパ金としてお受けいたしており、現在までにご協力いただいた金額は 317,148 円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 研 修 会 の ご 案 内

### ■ 児童夏の集い

開催案内既送

- ◆日 時 2016 年 8 月 17 日(水)～19 日(金)
- ◆会 場 グリーンピア津南
- ◆対 象 小学校3年生～中学校3年生
- ◆定 員 50 名
- ◆参加費 9,000 円(食事代・キャンプ料等)
- ◆申込み 申込書に必要事項を記入いただき7月 10 日までに三条教務所へお申込みください。
- ◆問合せ 三条教務所(宮野)

### ■ 大谷大学同窓会「夏季八十講」

- ◆日 時 2016 年 8 月 30 日(火)15:00～
  - ◆会 場 三条別院旧御堂
  - ◆講 師 水島 見一氏(大谷大学教授)
  - ◆講 題 曾我教学－法蔵菩薩と宿業－
  - ◆聴講料 無料
- ※同窓生の方々には三条支部から支部総会通知と合わせて後日ご案内いたします。

### ■ 推進員・育成員共学研修会報告

推進員教習部門幹事 北島栄誠

今まで三条別院を会場に3年間、推進員教習部門が主催し、推進員並びに育成員の共学研修会を開催してまいりました。本年は三条別院から飛び出し、教区指定推進員養成講座修了組を対象に、養成講座のアフターフォローの意義をこめ、去る4月 28 日には、新潟地区として第 23 組慶誓寺さんを会場に参加者 30 名を迎え、また去る5月 29 日、長岡地区として第 11 組長福寺では参加者 90 名を迎え、二か所で開催させていただきました。



武樋和嘉子講師 於長福寺(長岡市)

ご講師は、武樋和嘉子氏(第 15 組浄覺寺)をお願い

し、「御同朋御同行のころ」の講題のもとお話しをいただきました。お話しでは、ご講師の生活の中で感じられたことを柔らかい雰囲気でお話しをいただき、お人柄が伝わる研修会となったことではないかと感じております。

なかでも「ニワトリとたまごはどっちが先か?」というお子さんとの問答が印象的でありました。お子さんは、「そりゃニワトリが先だよ。」とスッと答えられたそうです。その理由を尋ねたら、「育ててくれる親がいないとたまごは育たないでしょ。」とのこと。このやりとりから私は、推進員・育成員はいかにして育つかということが問われた気がいたしました。

また今回は代表感話という形をとり、推進員・育成員双方の、日ごろ感じていることや講義を聞いて思われたことなどに関しての感話を話していただきました。

人の話を聞くことで、新たな発見がある。「我聞如是」というあり方、聴聞の根っこを考えさせられた研修会となりました。



長岡地区会場 長福寺 写真中央奥 北島住職

なお、推進員と育成員の「共学」研修会と銘打っておりますが、育成員の方々の参加が少なかったように感じます。このことは来年の開催に向けた反省材料と位置付けさせていただきます、今回の報告とさせていただきます。

## 教 務 所 か ら の お 知 ら せ

### ◎新任のご挨拶

三条教務所長 <sup>もりたしげみ</sup> 森田成美

謹啓 盛夏の候 皆様におかれましては、為法ご精進のことと存じます。

私儀

このたび、6月 29 日山命をもちまして、三条教務所長並びに三条別院輪番を拝命いたしました。教務所長としては、能登教区、仙台教区、高田教区に引き続き、4教区目ではありますが、年を重ねるばかりで、その重責を担うには洵に非力ではありますが、三条別院境内地総合整備事業計画等、皆様方からご教示を賜りつつ、その職責を果たして参りたいと存じます。前任者同様、ご指



導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

本来ならば拝眉の上ご挨拶申すべきところではございますが、まずは書中をもってご挨拶申し上げます。

◎退任のご挨拶

三条教務所書記補 藤谷ゆう

このたび、一身上の都合により、6月30日付で退職いたしました。

昨年の8月に三条教務所配属となり、この約1年間、皆様にはたくさんご迷惑をおかけし、大変お世話になりました。ここまで無事勤められましたことも支えてくださった皆様のおかげと心より感謝しております。

ここで学んだことを活かして今後も頑張っていきたいと思っております。最後になりましたが、どうぞ皆様お元気で、今まで本当にありがとうございました。

6月29日付、池守 章三条教務所長が北海道教務所長に異動しました。ご挨拶は次号に掲載予定です。

◎年間書(法語カレンダー等)のお申込みについて

法語カレンダーや報恩講冊子などの注文書を本号に同梱しております。注文数及び到着時期についてご記入いただき、郵送またはFAXにて教務所までお申込みください。また、三条教区作成の「帰敬式リーフレット」についてもあわせてご注文を承ります。

なお、締め切り(8月22日)までに申し込みいただけない場合は、ご希望の数量や納期にお応えできないことがありますので、お早目にお申込みください。

◎教区行事予定表 2016年

7/13(水)	14:00	決算委員会(教区会)
7/14(木)	14:00	予算委員会(教区会)
7/15(金)	14:00	青少年関係3部門全体会議
	15:00	松葉幼稚園理事・評議会
7/16(土)	14:00	真宗学院
7/19(火)		～20(水) 児童夏の集いスタッフ研修
7/20(水)	10:00	教区門徒会常任委員会
	14:00	教区会参事会
7/23(土)	14:00	真宗学院
7/26(火)	14:00	教区会
7/29(金)	10:00	教区門徒会
7/30(土)	14:00	真宗学院
8/4(木)	14:00	別院院議会
8/5(金)	13:30	正副組長会
8/8(月)	13:00	～9日 12:00 企画委員会一泊会議
8/9(火)	17:00	教学研究会輪読会
8/12(金)		～17(水) 教務所事務休暇
8/16(火)		～19日 夏の保養事業一夏休み大自然でキャンプお寺宿泊体験
8/17(水)		～19日 児童夏の集い(グリーンピア津南)
8/20(土)	14:00	～21日 12:15 真宗学院特別講義1・2
8/22(月)	9:30	声明基本講習会
8/27(土)	14:00	真宗学院
8/30(火)	14:00	大谷大学同窓会(15:00 講演会)

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつぶやき

駐在教導 西山郷光

息子は今4歳。三条別院の松葉幼稚園に通っている年中さんである▼幼稚園では、昼食時は食前食後のことばをお歌と共に唱和することや、別院本堂前を通り過ぎる時は「ののさまこんにちは(さようなら)」と合掌礼をすることが習慣づけられていて、とてもありがたい▼本堂前で小さい姿で手を合わせ、ぺこりと頭を下げるのはとても可愛い(親バカ)が、ちらちら頭をよぎる複雑な思いがひとつ▼息子の人生を大きく縛るであろう寺の長男という立場のことや、今の息子の申す念仏は、信に迷い人生に迷ってようやく念仏に出会い、阿弥陀さまの攝取不捨のお救いにすがって慚愧と感動の涙を流して念仏しているわけではないということである(当たり前だ)▼彼を見て複雑な気持ちになるという事は、勿論、彼の姿が鏡となって僕自身の在り方を照らしてくれているのである▼きつと、僕自身、僕なりに念仏や真宗の教えをありがたいと思いつつも、心から信順して南無と申しているわけではない、ということだろう▼ただニコニコと「ののさま～」と手を合わせ、忘れているときでも指摘すれば大抵の時は「そうだったそうだった」とばかりに手を合わせる息子。とても可愛い(親バカ)が、彼に実った「ののさま」という小さな柔らかい芽はこれからどう変化していくのか。ジャックと豆の木よろしくスクスクとどこまでも育っていくのか、ツル植物のように宿主の体を締め付け、いつか殺してしまうのか▼自戒を込めて繰り返すが、この不安・不信によってなにより問われるのは僕自身である▼彼を信じることができずか、それでも彼は生きていくと。お念仏を信じますか、それでも彼に寄り添うと▼折に触れて心にかけている言葉がある。念仏について語っている言葉ではなかったのだけれど、僕にとって念仏のことを示す言葉として心においている言葉だ▼「最初に出会う言葉と、最後に出会う言葉は同じ」(出典不明です、すみません。多分、何かの小説で読みました)▼僕の人生は途中、息子の人生も途中。その途中の「今」を救う確かな縁として今申す「念仏」がある。僕らはそれぞれに、すでにちゃんと出会うべき言葉に出会っているんだ、きつと。だからこれからも一緒に拙いお念仏を申しませう▼覚束なくとも、おすがりするばかり。いや、覚束ないという自覚があればこそ、おすがりするしかない我が身でいられるのか。ともあれ▼南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄  
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内  
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com